

レジメン名 R-ICE

出典 J Clin Oncol, 17:3776-3785,1999
Blood.2004;103:3684-3688

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

リンパ系腫瘍
進行・再発
補助療法(術前・術後)
初発

投与減量の基準

| | |
|---------|-------------------------------|
| Ccr | 10-50mL/min:IFM・VP-16を25%減量 |
| | 10-50mL/min未満:IFM・VP-16を50%減量 |
| T-Bil | 1.5-3.0mg/dL:VP-16を50%減量 |
| AST・ALT | 60-180IU/L:VP-16を50%減量 |
| その他 | 肝・腎機能障害以外に用量変更はしない |

投与中止の基準

| | | | |
|------|--------------------------|-----|-----------------------|
| ANC | 1,000/mm ³ 未満 | PLT | 5万/mm ³ 未満 |
| LVEF | 50%以下 | | |
| Gr | 1.5mg/dLを超える | Ccr | 60mL/min未満 |
| その他 | | | |

1クール期間 14-21日*

総クール数 3クール

(次のクールまでの標準期間)

※MSKGCでは14日毎、GORAL試験では21日毎

| 薬剤名・略号 | 1日投与量 | 投与方法 | 投与速度(時間) | 投与日(d1, d8等) |
|---|-------------------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------|
| リツキシマブ* | 375mg/m ² | 輸液 1-4mg/mLに 希釈 | 初回は 50mg/hr から漸増* | d1 |
| イホスファミド(イホマイド) | 5000mg/m ² | NS500mL | 24時間 | d3 |
| メスナ(ウロミテキサン) | 1000mg/m ² | 輸液100mL | 1時間 | d3(イホスファミド直前) |
| メスナ(ウロミテキサン) | 3000mg/m ² | イホスファミド に同時混注 | 24時間 | d3(イホスファミドに同時混注) |
| メスナ(ウロミテキサン) | 2000mg/m ² | 輸液500mL | 12時間以上 | d4(イホスファミド終了直後から) |
| カルボプラチン | AUC5 x (GFR+25) 上限800mg | 5%糖液250mL | 1時間 | d3 |
| エトボシド | 100mg/m ² | 輸液500mL | 1-2時間 | d2-4 |
| <p>※初回リツキシマブの投与速度は50mg/hrで開始し、問題なければ30分毎に50mg/hrずつ上げて、400mg/hrまで上げることができる。 2回目以降、速度を選択することができる。 ①初回投与時に副作用が軽微であった場合、2回目以降は100mg/hrで開始し、30分毎に100mg/hrずつ上げて、400mg/hrまで上げることができる。 ②臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/mm³未満である場合、90分間で投与(最初の30分で投与量の20%を投与し、その後60分で投与量の80%を投与)することができる。</p> | | | | |
| <p>【注意事項】 ・G-CSFを適宜実施 文献(J Clin Oncol, 17:3776-3785,1999, Blood.2004;103:3684-3688)では、最初の2クールではday5-12に、3クール目ではアフエーシスが終了するまで実施された。</p> | | | | |

| 1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む) |
|---|
| <p>day1 ①ヒドロコルチゾン200mg+ボラリン5mg+生食50mL(15-30min) ②リツキシマブ375mg/m²+生食適量(50mg/hrから漸増*) ③生食50mL(フラッシュ用)</p> <p>day2 ①デキササート6.6mg++生食50mL(15-30min) ②エトボシド100mg/m²+輸液500mL(1-2hr) DEHPフリーの点滴セットを用いて投与 ③生食50mL(フラッシュ用)</p> <p>day3 ①アロキシ0.75mg/kg++デキササート9.9mg(15-30min) ②エトボシド100mg/m²+輸液500mL(1-2hr) DEHPフリーの点滴セットを用いて投与 ③カルボプラチンAUC5+5%糖液250mL(1hr) ④生食50mL(フラッシュ用) ①ウロミテキサン1000mg/m²+生食100mL(1hr) ②イホマイド5000mg/m²+ウロミテキサン3000mg/m²+生食500mL(24hr)</p> <p>※イホマイド投与中、必要に応じて輸液500mL+メイロン7%20mLで尿のアルカリ化を図る。 ※イホマイド投与1時間前から投与終了の翌日まで1日尿量3L以上を確保。</p> <p>day4 ①デキササート6.6mg++生食50mL(15-30min) ②エトボシド100mg/m²+輸液500mL(1-2hr) DEHPフリーの点滴セットを用いて投与 ③生食50mL(フラッシュ用) ①ウロミテキサン2000mg/m²+生食500mL(イホマイド終了直後から12hr以上)</p> <p>内服 day2-4 アプレビタンカプセル</p> <p>【注意事項】 ・G-CSFを適宜実施</p> |